

国立大学法人 長岡技術科学大学
平成29年度第3回経営協議会議事要旨

日 時 平成29年11月16日（木）15時00分～15時55分
場 所 ホテルニューオータニ長岡 うめの間
出席者 東議長、天羽委員、磯田委員、大貝委員、五味委員、関委員、谷口委員、鎌土委員、
三上委員、横山委員、佐藤委員、中出委員、大石委員
(議事の表決委任による出席 池田委員、岡田委員、岸委員、合田委員)
陪席者 齋藤監事、滝上監事
事務局 総務部長、総務部付次長、大学戦略課長、総務課長、財務課長、監査室長、
総務課課長補佐、総務係長、総務主任、財務課課長補佐、予算係員

議事に先立ち、東議長から平成29年度第2回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

1. 平成29年度長岡技術科学大学補正予算（第2次）の編成について

横山委員から資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

報告事項

1 平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果について

鎌土委員から資料2に基づき、報告があった。

主な質疑応答は以下のとおり。

○一定の注目される事項の観点では、何かを実施したことだけではなく、その結果として得られた成果などを記載しないと評価は上がらない。

○評価を高めるという目標に向けて、学内全体の意識の向上が重要である。

○全ての項目において評価を上げることは難しいので、どこか1つを評価が上げられるように重点をおいて取り組むことにも効果がある。

●実績報告書を提出した後、文部科学省から質問事項が届き、成果を十分に説明したと考えていたが、結果として高い評価を得られなかった。

○この評価は運営費交付金に反映されるのか。

●運営費交付金には、単年度の評価ではなく、今期中期目標・中期計画期間の6年間の評価が反映される予定となっている。

●このほか、今期中期目標期間では、各大学の強み・特色を生かした3つの重点支援の枠組みの中での機能強化の取組が毎年評価され、各大学から拠出された運営費交付金の一部が再配分されている。

2 国連アカデミック・インパクトの参加承認について

三上委員から資料3に基づき、報告があった。

主な質疑応答は以下のとおり。

○国連アカデミック・インパクトに承認された意義やメリットのほかに、その効果についてもホームページなどでアピールすべきである。

○良い取組を行っていることを一般の方に広め、理解してもらえるような広報の仕方を工夫してほしい。

以 上